

環境保全行動 報告提出書  
自動車使用管理実施

2023 年 7 月 24 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所	〒 011-0925 北海道札幌市北区新川5条20丁目2番20号
氏名	旭運輸 株式会社
(代表者名)	代表取締役 武田 祐幸

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第13条第4項 の規定により、環境保全行動 第23条第3項 の規定により、自動車使用管理実施 報告書を提出します。

報告期間	2022 年 4 月 1 日 ~ 2023 年 3 月 31 日					
事業の規模	従業員数	225	人	原油換算した	907.9	kl
	使用床面積	13553.88	m <sup>2</sup>	燃料・熱・電気の合計量		
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数	100	台
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	エネルギー起源CO <sub>2</sub>	2240	メタン	N <sub>2</sub> O	HFC
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>			PFC	SF <sub>6</sub>	NF <sub>3</sub>	t-CO <sub>2</sub>
報告書の担当部署	担当部署名 担当者氏名 電話/FAX 電子メールアドレス					
計画書提出根拠	条例第13条 (環境保全行動計画)				<input checked="" type="checkbox"/> 第1項 <input type="checkbox"/> 第3項	
	条例第23条 (自動車使用管理計画)				<input checked="" type="checkbox"/> 第1項 <input type="checkbox"/> 第2項	
計画期間	2021 年 4 月 1 日 ~ 2024 年 3 月 31 日					
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書	別添のとおり					
備考						

- 注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。
- 2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。
- 3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。
- 4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。
- 5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。
- 6 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。
- 備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書  
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2021年 4月 1日～ 2024年 3月 31日

【報告期間】

2022年 4月 1日～ 2023年 3月 31日

行動目標	基準数値	目標削減率	2021年度結果			2022年度結果			2023年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
事業活動に伴う二酸化探査排出量の削減	706 t	3 %	684 t	3 %	○	670 t	5 %	○			
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	1620 t	3 %	1600 t	1 %	△	1570 t	3 %	○			
紙使用量の削減	980 kg	3 %	970 kg	1 %	△	950 kg	3 %	○			

- 注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。  
 2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。  
 ○：目標削減率を達成  
 △：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成  
 ×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理由
事業活動に伴う二酸化探査排出量の削減	○	二酸化炭素排出削減に向けての意識も高まり、また燃料消費に対する感覚も高まって来たため、二酸化炭素排出量も一定量削減した。
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	○	エコドライブの推進も進み、燃料高の現状から、より二酸化炭素排出量の削減に寄与した。
紙使用量の削減	○	一定の業務上の使用はあるものの、削減意識とシステム化、電子化等の一貫にて一定量の削減をした。